

発行人 今村久美子

編集人 土屋和子

〒191-0041日野市南平2-56-10 <http://www.angel-hino.com/>

Tel&Fax 042-583-1528

特定非営利活動法人市民サポートセンター日野 / 郵便振替番号 00180-0-612689

つなげよう! 地域の暮らし・縁むすび

●NPO法人市民サポートセンター日野 陽だまりプロジェクト発進

NPO法人市民サポートセンター日野は、今から20年前の1991年に、女性行動計画策定のための調査「女の暮らしアンケート」から誕生した日野市女性社会事業協会を前身としています。このため、当NPO法人は日野市官製NPOの一つとなっています。



2012年1月24日開催 / 新年交流会にて理事長・副理事長を囲んで

20年間にわたり当NPO法人は市民の暮らしとともに歩んできました。

市民サポートセンター日野には「こんなところが変わればもっと暮らしやすくなるのにとと思うところがたくさんあります。」という日野市民の声が今も毎日届いています。

この様な声を受けて誕生したプロジェクトの一つが3カ月から1歳の誕生日前日までの一時保育施設“0歳児ステーションおむすび”です。年間1000人以上の登録ですでに3500人以上のお母さんに登録することによって安心感を持っていただきました。ご利用いただくお母さんはお迎えに来ても保育士との子育て相談におしゃべりが尽きません。

またファミサポ（延会員数5385人）には行政の狭間の悩み事の相談が多くなり、細やかな対応が求められ、個別の支援ニーズへの対応と共に予防も必要な段階にきています。

団体設立20周年目の節目を迎えた私たちは、団体発祥の原点に立ち戻って、さらに市民の暮らしの支援を行います。この支援を“陽だまりプロジェクト”と名付けます。「ここはあったかいね。ホッとするね。」「わからないとき困ったときは相談してみよう」と市民が集まる団体へ、さらに、日野市を陽だまりのように温かて人が集まるまちにするため、市民サポートセンター日野は「日野の市民の暮らしを支援するNPO」を目指し、陽だまりプロジェクトを発進しました。



陽だまりカフェ



ふれあい館の憩いの場…

コミュニティカフェ Café Green

平成16年、ふれあい館開館とともにコミュニティカフェ Café GreenがNPOの自主事業として開店しました。

地域の女性の就業支援の場であり、地域の方々が気軽に立ち寄りほっとする場、仲間づくりの場としてのコミュニティカフェの誕生でした。

フェアトレードのコーヒー、紅茶を仕入れ、手淹れのコーヒー、紅茶を提供しています。コーヒーとともに味わっていただく、パウンドケーキ、クッキーは八王子のゆいまーるさん、日野市の夢ふうせんさん、一日限定10個のパンは青い鳥さんから仕入れて、障害をお持ちの方々に応援する場としても活用しています。

お陰様で、ふれあい館の憩いの場として市民の方々に親しまれ、特に多摩平団地の高齢者のご常連も増えました。最近では、児童館や図書館を訪れた若いお母さんと赤ちゃん連れが立ち寄ってくださいます。

おいしいコーヒーを身近に味わう

交流の場…陽だまりカフェ

一昨年ころから、近隣の認知症グループホームのお客様がヘルパーさんとともに来店くださるようになりました。「こんなおいしいコーヒーをホームの仲間に飲ませたい」とおっしゃるお客様の声から、「私たちのコーヒーを喜んでくださるなら、出前で行ってみようか。」「出前でも、お店と同じ淹れ方で陶器の食器で召し上がっていただきたいな。」「お客様には負担のない額を頂戴して、ほんとにカフェに行ったという雰囲気を楽しんでいただこう」等々、スタッフからアイデアが出て、陽だまりカフェを実施することになりました。

最初はこちらも慣れずに準備に手間がかかりましたが、昨年だけで1600杯あまりのコーヒーを淹れたスタッフは、いまや手慣れたもの。要請があれば「は～い、行きます」と気軽に出かけて行きます。児童館ではパパが brunch の講習を受けている間に、ママにコーヒー



の淹れ方と味わい方の講座を提供し喜ばれました。指定管理自主事業の「男の料理教室」でもコーヒー講座を行いました。

陽だまりカフェ、出前サービスをご希望の方は事務局までご一報ください (042-583-1528)

2011年の陽だまりカフェ実績

★カフェグリーンから一杯100円の出前カフェ

グループホームたまだいら (6/20,11/19)	42人分	南平児童館 (7/1)	21人分
ふれあい館 (7/23,31,9/4)	99人分	多摩平1丁目まつり (8/6)	46人分
グループホームしらかば (10/4,2/18)	30人分	多摩平児童館 (4/17)	8人分
福祉まつり (6/5)	250人分	あさひがおか祭り (10/30)	200人分
市民活動支援センター祭り (12/4)	200人分		

★東日本大震災義援金

カフェを飲んでいただいた分を義援金として (H22/3/22~5/31) 657人分
(H23/3/13~31) 153人分

★交流の場の提供として

ファミサポ会員交流会 (12/2) 32人分 男の料理教室 (12/11) 11人分



2011年 陽だまりカフェ合計1749杯

そのうち 義援金カフェ分 184,130円 (657杯分) を
東日本大震災義援金として日野市を通して日本赤十字社に寄付しました。



ふれんどさん

ファミサポの新しい展開

21名の
ふれんどさんが
誕生しました

ふれんどさんは平成24年度より実施するNPO自主事業です。

日野市内の一般家庭や保育園を訪問します。

0,1,2歳を持つ家庭に寄り添い協働する家族支援をおこないます。

ふれんどさんは、当NPO法人が実施している日野市からの委託事業のファミリーサポートセンターのアドバイザーの思いから誕生しました。

ファミサポには8名の地区サポーターさん（提供会員の活動をサポートする方々）をはじめとして、700人近い提供会員さんが登録されています。この方々に若いお母さんの地域とつながるきっかけづくりの人材「ふれんどさん」になっていただきたいと考えました。

ふれんどさんとは、0,1,2歳児を持つふれんどさん訪問を希望する家庭に伺い、家事や育児を一緒に行う人です。例えば、赤ちゃんを寝かせる時の手の添え方や声のかけ方、授乳の仕方など、新人お母さんの慣れない子育てを一緒に行ったり、買い物や公園に同行したり、離乳食を一緒に作ります。

「一緒に子育て」がキーワードです。

日野市子ども部子ども家庭支援センター、健康課、地域協働課などに相談し、ファミサポの提供会員さんの中から希望する方に必要な講座を受講していただく「ふれんどさん養成講座」を開設しました。

ふれんどさんとはこんな方々とイメージし講座をプログラムしました。

1. 地域の子育て支援をする人
2. 子育てや家族を取り巻く現状についての知識を持っている人
3. 傾聴し共感できる人
4. 寄り添って協働できる人

講座受講が終わった方は訪問実習を行いました。

二日間、2時間ずつの実習訪問を行い、実際のふれんどさんがどんなことができるのか、子育て中の若いお母さんたちは、どんなニーズを持っているのか、等、実習から学ばせていただきました。



ふれんどさん修了式にて

お世話になった講師の先生方、NPO法人理事長とともに

ふれんどさん養成講座開催にあたり、地域協働課、子ども家庭支援センター、健康課、保育課、希望の家、八王子児童相談所等、関係機関の皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。

ふれんどさんのこれから

1. ふれんどさん訪問希望家庭の募集
 - ①登録説明会等での募集
 - ・3, 4か月健診会場
 - ・おむすび登録会
 - ②チラシによる広報
 - ・健康課マザーズバッグ
 - ・市内各所への配布
2. 地域活動
保育園の地域子育て支援の場でお手伝い
 - ・たまだいら、ひらやま、たかはた台保育園など
3. ふれんどさん情報交換会の開催
 - ・11月に第1回ふれんどさん情報交換会開催

※ふれんどさんは無償ボランティアとして活動していただきます。NPO法人からふれんどさんに交通費として所定額をお渡します。

陽だまりプロジェクト No.3

おむすびころりん知恵袋の発行

日野市一時保育0歳児ステーションおむすびは5年目を迎えました。登録者も延べ4500人を超え日野市の0歳児のお母さんの70%以上に安心感の中で子育てできる環境づくりの支援をしてきました。2008年にはおむすびに子どもを預けたお母さんや高幡不動駅周辺の商店会の協力を得て「らくらく子育て応援マップ」を作成しました。2010年にはおむすびのブログから、0,1,2歳児の赤ちゃんとのコミュニケーションするヒントを満載した小冊子「おむすびころりん知恵袋」を5000部作成しました。

3.4カ月健診会場で配布しています。

<http://blog.goo.ne.jp/omusubi1011>



陽だまりプロジェクト No.4

高次脳機能障害者と家族の会「かしのきひの」

高次脳機能障害とは脳梗塞や脳出血などの脳血管障害や交通事故などで脳にダメージを受けた方に、後遺症として残る障害です。記憶障害、注意障害、遂行機能障害、行動情動障害などの見えない障害が残り、周囲からなかなか理解されず本人、家族とも苦しい思いで日々を暮らしています。全国に30万人いるといわれていますが、障害者手帳も交付されず、社会的支援を受けられない状況です。

全国に家族会がありますが、これまで日野市にはありませんでした。昨年秋に家族会設立の動きがあり、当NPO法人では事務局長が、数年前まで国立身体障害者リハビリテーションセンター病院の非常勤講師として高次脳機能障害者の心理指導および家族支援に携わっていた経緯から、日野市の家族会設立と今後の運営の支援をすることになりました。2012年3月4日には多摩平の森ふれあい館で設立記念講演会を開催し、市内外から120名以上の参加者が集まりました。当法人では今後の会の運営を支援してまいります。

高次脳機能障害者と家族の会 かしのきひの

TEL 080-8426-8635

E-mail : kasinokihino@gmail.com

そだちあい保育スタッフ育成の修了

日野市の「保育サポート体制強化推進事業」として2010年度から2011年度の2年間にわたり育成した「保育スタッフ」が市立保育園での2年間の行動観察とレポート作成業務を終了し、卒業レポート集を作成しました。12人が各園で行動観察したお子さんの特性を踏まえた日々の保育の中での支援方法とその成果をまとめています。保育スタッフはこの4月から市立保育園の介助員等で、2年間の学びを保育園で活かすことになりました。

ホームページ・リニューアル

NPO法人市民サポートセンター日野とファミリー・サポート・センターのホームページがリニューアルしました。ファミサポ通信のWEB閲覧が平成24年度から始まるのを機会に、新しいファミサポのページができました。

<http://www.angel-hino.com/>



お知らせ

★2011年度事業報告・決算報告及び2012年度事業計画と予算書の閲覧について

電話連絡の上、事務局までお越しください。

TEL 042-583-1528

★特定非営利活動法人市民サポートセンター日野

会員数 法人会員 2法人

個人会員 296人 (2012年3月末現在)

★NPO法人設立記念事業について

再来年2014年でNPO設立10周年を迎えます。

これも、会員の皆様のご理解ご協力のおかげと感謝しております。

10周年に当たり、会員の皆様により一層、当NPO法人の活動内容をご理解いただくために、記念の事業を立ち上げたいと考えております。

会員の皆様のご要望などあれば、事務局へご遠慮なくお知らせください。

編集後記

2011年度は様々なチームワークで多くの仕事ことができました。2012年度はNPO会員の思いを形にしていこう一年間です。

よろしくお願いいたします。(T.K)



NPO会員募集

NPO活動を活性化するためにNPOの趣旨に賛同し支援して下さる方を募集しています。ご協力ください。会員の種別と会費は以下のとおりです。同時に寄付も受け付けております。

◆一般会員 1,000円 ◆賛助会員 3,000円 ◆法人会員 30,000円 ◆運営会員 10,000円

入会金(一般会員、運営会員のみ)1,000円 振込は下記の振込番号にてお願いします。

郵便振替番号 00180-0-612689(手数料は会員負担でお願いいたします)